

昆虫館だより ②

千種川グリーンライン昆虫館館長
内海 功一

9月に入ったいま、キリギリス、ヒメギス、ヤブキリはもう老令、クサキリ、クツムシ、ウマオイ、クダマキモドキ、ツユムシ、セスジツユムシ、ササキリ、カヤキリなどは成虫ざかり、アシグロツユムシはまだ幼す、クビキリギスは生れて間もない。

前記のものに加え、コオロギ類や、マツムシ、スズムシ、カンタンなどと鳴く虫で館内のにぎわう時となる。

クオアゲハ、ルリタテハ、スミナガシ、キマダラヒカゲなどの幼虫も大きくなっている。本年3回目のカイコはいま2令この夏は意外とキベリハムシが多く見つけた。食欲は旺盛で、しかも水揚げのむずかしいピナンカズラでの飼育、展示だが人はあまり気付かぬようである。

庭で、例年のようにヒメカマキリと出会った。一日の仕事を終えたいま、何百と鳴くスズムシの中でこのことをしたためる。(S08:佐用郡南光町船越)51.9.1

* 会誌発行について

発行予定日…52年4月10日
原稿締切日…52年1月31日
どしどし投稿して下さい。

* 会報発行について

発行予定日…52年1月20日
原稿締切日…51年12月10日
どしどし投稿して下さい。

ジュニア質問箱

【質問箱】⑦ ツバメがトンボをつかまえていたがツバメはトンボを食べるのですか。(J.17木村光司)

普通ツバメはハエやフトなど空中昆虫を一番よく食べます。しかし雨の日などヒナに与えるエサが少ない時にはトンボも与えます。今年の6月、加西市の福永茂氏のツバメの観察記によると、

1976年6月14日、ツバメのヒナがふ化してから一週間経ったある日、ヒナのエサとして運んできたトンボ、ハエ、ガが巣の下に落ちていた。いずれも足などを接着剤のような粘液でひっつけられ動けないようにされていた。翌日もトンボなどが落ちており巣立つまでに約30匹のトンボが確認できました。

【質問箱】⑧ ありじごくについて詳しく説明して下さい(協会会員:今津満里子)

ありじごくは雨があまり強くあたらない軒下や排水の良い砂地で生息しています。ですから飼育容器のように水が溜まるようなことはまず考えられません。また、アリの巣に雨が落ちて2~3時間水につかるようなことがあってもよほどのことがない限り場所を移動するようなことはありません。本誌5ページの「郷土のウスバカゲロウ相とアリジゴク」を参考にしてください。

【質問箱】⑨ アゲハチョウの♂♀の見わけ方について姫昆ではどのように解答されますか(市民からのTEL)

♂♀の区別については春型夏型とも♀の方が♂より大きく(例外個体もある)♂の方が♀よりも色があざやかで黄色と黒色がはっきりしている。対して♀は色がくすんで見える。

夏型♂は後翅表面7室中央に黒斑が、♀は薄い黒色が現れる。詳しくは標本を同定会日にお持ち下さい。